

令和8年度 サッカークラブ(土) 年間カリキュラム

【ねらい】
① 「サッカー」を通して自発性・リーダーシップスキルの向上
② 個人スキルの向上・仲間への意識を持つ、コミュニケーションスキルの向上
【支援方針】
① 段階を踏んで基礎から練習を行い、試合などの実践に移る。
② ルール理解ができるように、繰り返しの経験、個別のサポートを行う。
③ 集団意識を持てるように、話し合いの場を設けながら、自己発信や人の意見を聞く経験を積む。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	・集団レクリエーション ・基礎体力作り ・基本的動作の習得 ・サーキット	・協調性・コミュニケーションスキルの向上。 ・蹴る(足でのコントロール)力を培う。 ・一連の動きの確認⇒(蹴る・走る・止まる・パス・シュート)。 ・気持ちの切り替え方を学ぶ。 ★勝った場合…相手に対してどういう態度をとるか・声をかけるか、など。 ★負けた場合…他児を責めず、自身の気持ちの切り替えをどうするかを学ぶ。 ・体力・持久力アップ。 ・基礎技術の習得	【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。	・慣れない環境で流れが分からない。 ・集団参加の難しさが見られる。 ・知らない他者への発信の難しさがある。 ※各児童、丁寧にアセスメントし、各児童に合わせた支援を行う。
5月				
6月				
7月				
8月	【室内活動】 ・体幹トレーニング ・アジリティートレーニング	・お友達との関わりを意識して活動に参加する。 ・様々な身体の動かし方を体験する。 ・身体を素早く的確に動かす能力の向上。	【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	・熱中症対策の為、室内活動に切り替える。 ・試合ができないとモチベーションが下がる児童が出てくる為、楽しいと思えるように支援していく。
9月				
10月	・サッカー理解(攻撃と守備) ・他事業所との交流試合	・実践に活かせる作戦面の強化。 ・他事業所との交流を図ることで個人・チームスキルの強化を図る。 ・試合経験を積む。	・礼儀や挨拶、相手のことを意識できるように普段から意識付けをする。	
11月	・対外試合に向けて (スペシャルニーズ)	・交流試合を通して出た課題や改善点を見つける。 ・基礎技術・応用技術の向上。 ・チームワークの強化(協調性・コミュニケーション能力)。		・他児と意見の食い違いなどで衝突をする ⇒どうやって話し合いをするか・どう対応するかなどを伝える、又は考える場を設ける。
12月				
1月	・親子サッカーに向けて	・日頃の練習の成果を発揮する。 ・サッカーを通して親子で親睦を深め互いに一緒に楽しむ。		
2月	・対外試合に向けて	・試合を通して社会性やコミュニケーション能力の向上を図る。 ・諦めずに挑戦する姿勢を養う。		
3月	・次年度へ向けて	・自主性、積極性の向上。 ⇒自分で考え、行動する力を養う(5・6年生中心)。		